

桜景と美しい日本語

- 2014.04.08 Tuesday
- 18:27

花粉症と風邪のダブルパンチにあっている方も多くみられるこの4月頭。4月1日段階で東大寺の中は満開。



できるだけ外出せず、家にこもっている間に近くの新戦場も葉桜。



咲いて楽しみ、散って惜しみ、桜の余韻を子どもも楽しんでいます。



花粉症と風邪のおかげでハミングが心地いい(笑)

こもっている間に由紀さおりさんのインタビューの番組を2本観ました。
彼女の歌へのこだわり「美しい日本語で歌うこと」があるそう。
中でも鼻濁音はかなりのこだわりで、滝廉太郎の「花」を例に出して
話していた場面が印象的でした。

先日の定例で端っこでみんなの永訣を聴いていたら……。
う～～ん……バカボンのパパ状態に聴こえてしまっ(／_＼)

……なのだ、などなど、

1音1音を響かせようとしてしまうのか、息の流し方が悪いのか、
機械的な言葉の羅列でフレーズ感が全くない。
休符が入ると完全に旋律の流れは切れ、言葉が伝わってこない。
話すときはこんなぺったんこな発音しないのに、こう聴こえてしまうんだと実感。

「音量でなく、言葉を発するエネルギー」

ひとみ先生からの提案もあったけれど、
歌詞を紙に書いて、それを見ながら歌ってみませんか？
それも漢字交じりで書いた方が情景が浮かびやすいかもしれない。

2時間の練習を聴いて、思ったことです。美しい日本語目指しましょう。